

シェアサイクル事業の開始について

1. 目的

都市の新たな交通手段として、複数のサイクルポートでどこでも自転車を利用し、返却可能なシェアサイクルを導入することにより利便性を向上させるとともに、観光スポット等へのアクセス性を高めることを目的とし、シェアサイクル事業（社会実験）を開始する。また、東京2020オリンピック・パラリンピック開催による交通需要対策の一つとしても活用していく。

2. 概要

- (1) 実施方法 事業主体(品川区)と運営主体(株)ドコモ・バイクシェア)が協働で事業を行う。

【品川区の役割】

- ①イニシャルコスト(ポート・自転車購入等)
- ②公共用地の確保
- ③補助内容のチェック
- ④事業内容、運営内容のチェック
- ⑤データ収集

【ドコモ・バイクシェアの役割】

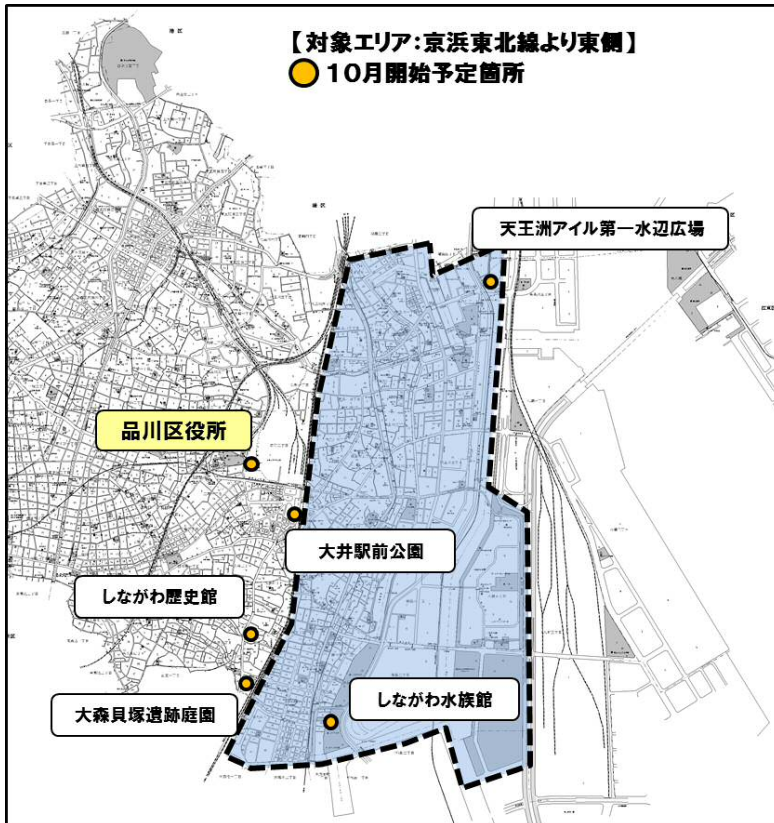
- ①ランニングコスト全般(自転車の管理・修繕・再配置・会員管理・コールセンター・運営費等)
- ②用地の確保(民有地)
- ③事業提案、事業報告

- (2) 実施予定日 平成29年10月18日(水) 運用開始
平成29年10月29日(日) オープニングセレモニー
(しながわ区民公園)
- (3) 対象エリア 京浜東北線より東側から順次整備
※平成29年度は自区内運用、30年度以降は広域相互乗入れを予定
- (4) 実施規模 10月の運用開始時
サイクルポート5箇所以上 電動アシスト式自転車50台以上
平成29年度内
サイクルポート18箇所以上 電動アシスト式自転車200台以上
※順次拡大していく予定

3. 利用料金（税抜）

- ・ 1回会員／基本料 0円 利用ごとに最初の30分150円、以降30分ごとに100円
- ・ 月額会員／基本料 2,000円 何度でも最初の30分以内は無料、以降30分ごとに100円
- ・ 1日パス／1,500円（専用ICカード発行料500円が必要となる場合あり）

◆サイクルポート整備候補地



◆サイクルポートイメージ

※平成29年度は区内のみで返却可能



◆広域相互利用参入後のイメージ

※平成29年度は区内のみで運用

